

川平地区 社協だより

第85号

令和3年9月1日発行

川平地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 伊東 祐朗
編集 地区社協広報部

令和3年度の社協の取り組み～コロナ禍と渡り鳥的な活動

会長 伊東 祐朗



今年度は活動拠点とするコミセンが8月から大規模改修のため、4月から7月までの短期の利用期間になるので、希望通り会場の確保できるか心配でした。思いの外に他団体と競合はなく6月に福祉活動研修会、7月に日赤研修会を振り分け、子育てサロン「かわだいラッコ」は4月から4回とする計画ができました。

コロナ禍の折にもかかわらず、伝統的に続けてきた三つの取り組みを4カ月に圧縮したような計画のため、実施ができそうにないときには延期ではなく中止を原則とすることと考えていました。

4月の総会は書面総会として承認していただきました。「かわだいラッコ」の活動では4月がコロナ禍でコミセンが休館となり中止。5月はスタッフだけで待ち人來たらずでした。6月、7月は親子の参加があり、少人数でも開催をみんなで喜び合いました。福祉活動研修会は川平地区担当の2名のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の方々に講話をいただきました。翌日には早速CSWに相談する方も出てきたそうです。

川平地区社協は川平赤十字奉仕団も兼ねており、7月11日が日赤研修会でした。折しも東京などコロナの緊急事態宣言を受けて日本赤十字社において基礎研修会の開催や講師派遣等中止するという連絡がありました。このため開催方法を変更し、「書面研修会」としました。社協・日赤のコミセンでの活動は7月19日の三役会で終了します。

8月中の会議は、9月からの活動に備えてお休みとします。

9月から3月までは、渡り鳥のように活動場所を転々としていきます。「役員会は、杉埴町内会集会所」、「三役会は、川平団地町内会集会所」を借用の予定です。他の町内会の皆様もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 川平地区社会福祉協議会総会

「令和3年度 川平地区社会福祉協議会総会」は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面での議決とし、令和3年4月15日、すべての議案について承認されました。

《令和3年度 事業計画》

1. 福祉活動について

(1) 「小地域福祉ネットワーク活動」の推進

①高齢者、障害者等世帯の安否確認活動への支援

②日常生活支援活動や福祉活動への支援

＊令和3年度社会福祉協議会会費納入額の25%

(2) 高齢者を対象とする「いきいきサロン活動」の推進

支援：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○対象：65歳以上の一人暮らしの方、および70歳以上の方

○1回あたり8,000円助成（社協より5,000円、日赤より3,000円）

＊年6回まで申請により助成（報告書の提出）

(3) 乳幼児親子対象の「子育てサロン活動」の推進

主催：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○子育てサロン「かわだいラッコ」を年間4回開催。

対象：未就学児の親子・家族・妊婦

2. 募金活動について

(1) 日本赤十字社会費 5月1日～ 6月30日・・・日本赤十字社社員増強運動実施

(2) 社会福祉協議会会費 7月1日～ 8月31日・・・会員増強運動実施

(3) 赤い羽根共同募金 10月1日～11月30日・・・全国一斉共同募金運動実施

※各募金時期については、各町内会により異なります。

3. 研修活動について

(1) 福祉活動研修 ○高齢者福祉などについて

(2) 日赤奉仕団研修 ○非常災害時の対応などについて

(3) その他の研修会 ○福祉施設・介護施設などの見学や講話

4. 広報活動について

○「社協だより」年間2回発行（第85号・R3年9月発行、第86号・R4年3月）

*各町内会や各種関係団体の福祉活動紹介

*各種研修会・講習会の広報と行事報告など

5. 青少年健全育成活動支援について

○桜丘中学校区青少年健全育成協議会への助成

○中山中学校区青少年健全育成協議会への助成

○川平学びのミュージアム推進委員会への助成

6. 各種行事・研修等への参加について

○川平学区連合町内会、福祉関連機関などの行事や会議、及び研修会への積極的参加

7. その他

○川平赤十字奉仕団倉庫（中山8丁目21-68）の救援装備の保管と活用

○非常用炊き出し用具の地域への貸し出し

○車椅子の保管と活用

《令和3年度 川平地区社会福祉協議会収支予算》

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

○収入の部

（単位：円）

科目	前年度決算額	本年度予算額
1 会費	777,650	777,650
1) 普通会費	767,650	767,650
2) 特別賛助会費	10,000	10,000
2 助成金	715,325	715,325
3 共同募金	753,820	753,820
4 委託金	58,700	50,000
5 負担金	0	30,000
6 寄付金	0	50,000
7 諸収入	5	20,011
8 繰越金	555,225	659,504
合計	2,860,725	3,056,310

○支出の部

（単位：円）

科目	前年度決算額	本年度予算額
1 会議費	47,395	80,000
2 旅費	32,000	50,000
3 渉外費	3,000	55,000
4 需用費	41,968	55,000
5 役務費	47,000	60,000
6 事業費	326,327	442,413
1) カソ活動費	105,633	220,000
2) ネットワーク活動費	194,413	194,413
3) 募金活動費	26,281	28,000
7 研修費	4,791	70,000
8 広報費	144,870	160,000
9 青少年育成助成金	20,000	30,000
10 送付金	777,650	777,650
11 共同募金	753,820	753,820
12 諸費	2,400	15,000
13 予備費	0	507,427
小計	2,201,221	3,056,310
繰越金	659,504	0
合計	2,860,725	3,056,310

《令和3年度 川平赤十字奉仕団 収支予算》

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

○収入の部

（単位：円）

科目	前年度決算額	本年度予算額
1 会費	1,154,986	1,154,986
2 日赤交付金	271,698	271,698
3 諸収入	2	3
繰越金	272,511	329,773
合計	1,699,197	1,756,460

○支出の部

（単位：円）

科目	前年度決算額	本年度予算額
1 会費送付金	1,154,986	1,154,986
2 会議費	21,336	40,000
3 事務費	29,830	73,000
① 消耗品費	15,746	20,000
② 交通費	14,000	30,000
③ 通信費	84	3,000
④ 渉外費	0	20,000
4 事業費	163,272	245,000
① 研修費	31,865	60,000
② 高齢者福祉費	99,087	120,000
③ 広報費	1,135	25,000
④ 募金活動費	31,185	30,000
⑤ 諸費	0	10,000
5 予備費	0	243,474
小計	1,369,424	1,756,460
繰越金	329,773	0
合計	1,699,197	1,756,460

《令和3年度 川平地区社会福祉協議会 役員（理事）名簿》

（任期 令和3年4月1日～令和4年3月31日）

役職	氏名	推薦団体	備考
会 長（兼） 川平赤十字奉仕団長 川平地区共同募金会会長	伊東 祐朗	川平団地	
副会長（兼） 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区協募会 副会長	阿部 幸子	中山北部	経理
副会長（兼） 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区協募会 副会長	菅沼 勇	川平団地	研修
総務部長	山本 卓子	西勝山	募金
経理部長（兼）	（阿部幸子）	（中山北部）	
福祉部長	滝川 律子	民児協	
募金部長	石沢 健治	民児協	
広報部長	毛利 幸子	民児協	
総務副部長	菊地 孝	民児協	
経理副部長	秋山 健治	中山北部	募金責任者
福祉副部長	中野 智美	川平わかば	募金責任者
募金副部長	谷岡 洋志	川平団地	募金責任者
広報副部長	加藤 仁雄	川平団地	
地域福祉活動推進員	菊池 親	民児協	研修
福祉部員	後藤 美穂	川平わかば	
福祉部員	及川みち子	杉埜	募金責任者
福祉部員	遊佐 洋子	西勝山	募金
募金部員	豊間根義明	杉埜	
募金部員	佐藤 久子	中山北部	
監 事	佐々木宏三	民児協	
監 事	和泉 忠男	西勝山	募金責任者

○川平赤十字奉仕団では、団長・副団長以外の役員全員が「団員」となります。○各町内会の福祉部長が募金責任者となります。

子育てサロン「かわだいラッコ」

長期化するコロナ禍で、思うように子育てサロンを運営できず歯がゆい思いです。それに加えて川平コミュニティセンターの大改修で今年度のサロンは三月までお休みとなります。

「かわだいラッコ」は子育て支援の場であり、雑談の場でもあります。時代が変わって、わからない事や悩みがあったりするとインターネットを活用するのですが、それとは別に経験豊かなボランティアの方々、スタッフとのおしゃべりの中で、ネットとは違う情報を得たり、ささいなことでも話すことにより気持ちが落ち着くこともあります。

規制の多い毎日でストレスが多い時代、一人でかかえこまないで、ぜひサロンをご利用下さい。

先日、仙台市のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の方と実習生が見学に来られました。私共もそういった機関と連携をとりながら、よりよい子育てサロン作りをし、来年度へつないでいきたいと思ひます。



写真左：
スタッフ・ボラン
ティアの方々
写真右：
サロン様子

（川平地区社協福祉部長 滝川 律子・記）

令和3年度 福祉活動研修会 報告

令和3年6月20日(日)川平コミュニティセンターにおいて「川平地区社会福祉協議会 福祉活動研修会」をコロナ禍のなかで人数制限をし、38名参加で開催しました。

《研修内容》

講話：「つながり受け止める ～地域の相談機能の充実に向けて～」

住民だからこそできる「見守りの長所・短所を理解して超高齢化社会で活用する方法を考えてみる。」

講師：仙台市青葉区社会福祉協議会 青葉区事務所

主任 石野 明美 様 CSW (コミュニティソーシャルワーカー)

主事 一戸 翔 様 CSW (コミュニティソーシャルワーカー)

主な内容：

①川平地区内の人口等の推移

	平成30年	令和元年	令和3年
人口	10,007人	9,878人	9,690人 (4,492世帯)
高齢者数	3,035人	3,059人	3,087人 (2.15人/世帯)
高齢化率	30.33%	30.97%	31.86%

推移表より、人口は年々減少傾向である反面、高齢者の数が増加傾向である。

②高齢者、障害者、子供に関する様々な相談を受け付けてくれる窓口の紹介がありました。

- ・青葉区役所障害高齢課 TEL：225-7211
- ・国見ヶ丘地域包括支援センター TEL：303-3805
- ・桜ヶ丘地域包括支援センター TEL：303-5870
- ・青葉区家庭健康課 TEL：225-7211
- ・仙台市児童相談所（子供の相談窓口）TEL：718-2580

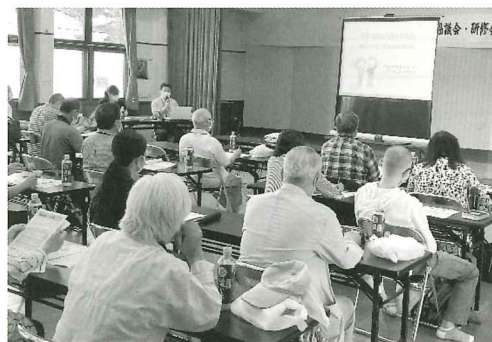
困りごとや問題等ございましたら、ご本人でも地域の方からでもご相談くださいとのこと

③CSW (コミュニティソーシャルワーカー) とは？

仙台市社会福祉協議会の各区・支部事務所にいます！！

地域での福祉や暮らしの困りごと、地域福祉活動に関する相談、地区社協活動の支援などを行います。

講話終了後、数々の質疑にお応えいただき、菅沼副会長の閉会の挨拶にて研修会終了となりました。



写真左：
講師のお二人
写真右：
研修会の様子

(地域福祉活動推進員 菊地 親・記)

令和3年度 川平赤十字奉仕団研修会 報告

7月11日に予定していた令和3年度 川平赤十字奉仕団研修会は、東京等のコロナ感染対策の緊急事態宣言を受けて全国的に日本赤十字社の研修会、講師派遣の活動を中止することとなりました。会場の川平コミュニティセンターも改修工事があり、令和3年度中の開催が出来ない状態なので講演資料を配布する書面研修会となりました。

講演資料には大河ドラマの主人公である渋沢栄一さんが日本赤十字の前進である博愛社時代からの支援者であり、実業界だけでなく公益・福祉事業にも指導者的な役割を果たしたとの歴史紹介があり、赤十字活動の理念を感じ取ることが出来ました。

最近では洪水、土砂崩れなど災害が多く発生しています。この災害発生時に災害救助活動、救援物資の配布、義援金活動など税金を使わずに日本赤十字社が国民の皆様の会費で活動している仕組み、活動内容を学習しました。

私たち赤十字奉仕団として身近な社会の中でともに支えあい、学びあってよりよい社会をつくる大事さを痛感しました。

(川平赤十字奉仕団副団長 菅沼 勇・記)

編集
後記

今年度最初の発行となります。依然として続くコロナ禍により社協活動も限られることと思いますが、紙面でお伝えできるよう努めてまいります。
また、皆様からの地域情報の寄稿をお待ちしております。

《編集スタッフ一同》